

- 中学生は登校拒否、高校生は登校拒否・神経症の相談が多い。
- ② 全体を内容別にみると、登校拒否が圧倒的に多くみられ、全体数の43%を占めている。
- ③ 両親の養育態度のまざさから、年齢相応に発達すべき耐性の欠如している子供が多く、子供は危機場面に出合うと、自分のからの中に閉じこもり、逃避する傾向が強くなるかがわれる。
- ④ 早期に症状を発見し、来談した子供ほど、比較的早く治ゆしている。
- ⑤ 早期発見・早期治療は、今後とも重要視されなければならない。
- ⑥ 学校においては、管理的発想による教育相談ではなく、前向きの指導的な発想に基づく教育相談を確立する必要がある。

第5節 教育資料

1 教育資料の収集・整備

教育に関する専門図書、及び教育資料のセンター的な機能を果たすよう努力してきた。そのため当センターにおける研修、調査・研究、相談事業の充実と、県内各学校の教育実践、教師の研究活動の推進に十分寄与できるよう、教育図書及び教育資料の収集・整備につとめた。

(1) 教育図書・教育資料の収集・整理・保管

教育図書は、本年度554冊の増加を図ることができ約17,000冊の蔵書数となった。その中で小・中・高等学校の教育課程に関する図書の整備ができた。

教育資料については、全国各教育機関や研究機関等の紀要、研究報告書及び県内各学校の研究物等の収集で本年度740冊を得た。

教育関係定期刊行物（月刊誌等）は、購入及び寄贈により70点が常備できた。

これらの整備は、図書についてはNDC、教育資料は原則として、都道府県指定都市研究所長協議会で作成した「教育資料分類基準」により分類し配架した。

(2) 教育図書・教育資料の利用

本年度の利用者は、研修者をはじめ県内教職員と学生などで、延べ約1,000名を数えた。

教育資料については冊数の制限はしないが、教育図書は1回に2冊まで、3週間を期限として貸し出してきた。

(3) 教育センター所報の発行

県内各学校の教育実践に関する資料並びに研究の情報を提供するため、当センターにおける研修、調査・研究、相談事業の成果を中心に編集し、第36号～第40号を刊行して、県内公立小・中学校と県立各学校に配布した。

2 教育資料の刊行

(1) 学校経営評価に関する研究

学校経営評価の理論的追究と、実際の学校経営における経営評価の事例についての調査研究をし、3年計画で行う本研究の第1年次としての基礎的研究をまとめ紀要第36号

を刊行した。

(2) 授業研究に関する基礎調査

本県公立小・中学校における授業研究に関する調査研究を行い、その実態と問題点を明らかにした。

調査は現職教育主任812名（小学校561名、中学校251名）を対象とした質問紙によるもので、その結果を紀要第34号にまとめて刊行した。

(3) 教育相談の基礎的研究報告書

登校拒否の症状で来談する件数が増加している現況から、登校拒否児をどのように理解し、どう指導すればよいかという観点から「登校拒否に関する研究」としてまとめ、紀要第37号を刊行した。

(4) 学習指導に関する研究

県内各学校における学習指導の改善・充実のための資料として、当センターの研究活動の成果を紀要第35号にまとめ刊行した。

内容は次の通りである。

① 実験・観察教材の開発に関する実験研究

- 温度計の特性と使用例について
- 血液とその循環に関する実験
- 放射線と物質の相互作用に関する実験

② 学習指導の改善に関する研究

- 作って遊ぶ活動を通しての指導の一考察
- バレーボールのゲームの様相について
- 教育機器の活用とそのための研修状況について

第6節 情報処理教育生徒実習

1 電子計算機の実習

センターでの生徒実習は、学校からの要望により主として県立高校の生徒を対象として行い、昭和47年度から実施している。

センター利用の方法には、1、来所しての利用と2、メール方式の利用との二つがある。後者は、本県がわが国第3位の広域県なので、遠隔地の学校の利用に対処してとられた方策の一つである。

(1) 来所しての利用

情報処理教育の共同利用施設としての教育センターを主に県立高校が授業の一環として利用している。

なかでも、商業科、工業科の生徒の利用が多く、全体の99.5%を占めている。

本年度は、商業科、工業科とともに利用実人数が増加しており、喜ばしい傾向である。

反面、最近遠隔地からの利用が減少している。

県内高等学校生徒の電子計算機利用人数

学科別	利用数	学 校 数	実 人 数	延 べ 人 数
県立 高 校	商 業 科	5 校	645(50.6%)	656(39.1%)
	工 業 科	5	623(48.9%)	1,011(60.2%)
	普 通 科	1	6(0.5%)	12(0.7%)
	計	11	1,274(100%)	1,679(100%)
そ の 他		1	57	114
合 計		12	1,331	1,793